

イタバシ4月入社 of 古殿涼さん

9日にプロボクシングデビュー戦

イタバシでは4月から新卒の正社員として入社した古殿涼さん(22歳)のスーパーフェザー級(58.9kg)プロボクシングデビュー戦が9月9日に決まり、従業員で応援ツアーが組まれた。

古殿さんは午前中にセルフ北砂SSで働き、午後3時から午後6時まで角海老宝石ジムで練習し汗を流す。

中学生時代に空手の有段者となり、ボクシングの強豪・習志野高校に入学し、ボクシング部でライバルと切磋琢磨した。

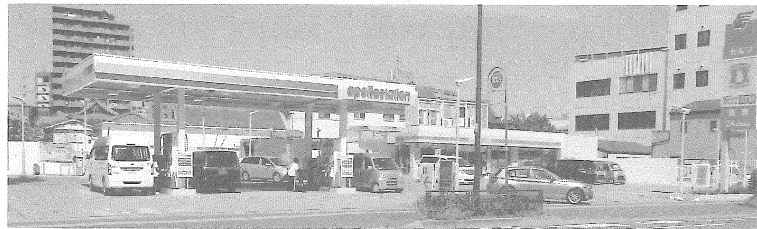
その後、専修大学ボクシング部に入り、卒業してから角海老宝石ジムに通う。

「トレーナーやジム仲間からはパンチ力が強力だと言われます」としながらも、「アマチュアではインファイター(接近戦)の力強いパンチより、ポイントを稼ぐ戦法が評価されます。私は高校時代からプロを目指していたの

で、プロ向きの選手だと思っています」と9月9日のデビュー戦に自信をのぞかせた。

「練習を積んで目標(試合)を目指すことは、社会人になって仕事することに似ている」と指摘し、格闘技経験が社会人になった現在に活かされているという。

イタバシ入社にあたっては「ほかの企業も面接を受けましたが、ボクシングを続けられる環境が整っていることが入社した動機です。アスリートが働きながら競技に打ち込める環境が日本の企業ではまだ少ないので、本当に感



セルフ北砂SS

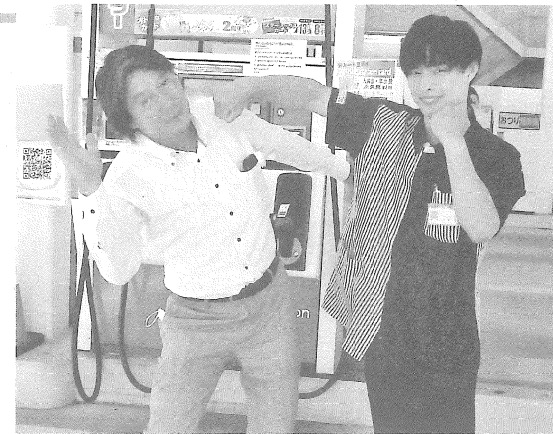
謝しています。7月上旬に危険物取扱者乙種4類も取得できたので、会社に貢献するべく頑張りたい」と述べた。

主な仕事は「アルバイトさんができない、給油許可、釣銭機の現金回収、エラー対応などの業務や、ローソン併設店なのでコンビニの仕事も行っていきます。アルバイトさんが働きやすい環境を作っていく仕事も重要だと思います」と社内環境の充実を考えていた。

将来の夢は「あまり、大きな夢は掲げずに、まず目先のデビュー戦で勝利し、また頑張るといった積み重ねが大事だと思っています」と謙虚に答えた。

イタバシの東京SS部木村良晃部長は「会社としては、今までプロアスリートの社員がいなかった。プロデビュー戦も従業員で応援に行こうとなり、当社がガソリンを販売しているだけで

はないといった当社に対する関心が高まって欲しいという期待がある」とし古殿さんの仕事については「仕事ぶりは真面目」と評価した。



古殿さん(右)の右ストレートで木村部長もKO

また「ルックスもいいので裏方だけにしておくのはもったいない。ファンになるお客さまもいるのではないかと思い、将来的にそういった面も期待が持てそうだと会社としても有望株の社員とみている。

＜イタバシ＞

東京都新宿区早稲田、板橋考史社長、出光興産系。1945年創業、東京都と栃木県に16SSのネットワークを有する。

＜セルフ北砂SS＞

東京都江東区、営業時間24時間、ローソン併設。